

令和9年度
医学部医学科
第2年次学士編入学
学生募集要項

(Web 出願)



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

目 次

■ 滋賀医科大学 Web 出願の流れ	1
■ 理念等	2
■ 学生募集要項	
趣 旨	6
募集人員	
入学時期	
出願資格	
出願手続	7
選抜方法等	1 1
合格者発表	1 3
入学手続等	
出願資格審査	1 4
障害等のある入学志願者との事前相談	
欠員の補充	1 5
入学試験個人成績の開示	
入学者選抜状況	1 6
個人情報の取扱い	
生成 AI の利用について（注意事項）	1 7
学内の略図	1 8

滋賀医科大学 Web 出願の流れ

本募集要項に掲載する入学者選抜試験への出願は、「滋賀医科大学 Web 出願システム」による Web 出願のみです。

【注 意】

Web 出願システムに出願登録しただけでは出願は完了しておらず、必要書類を提出してはじめて、出願完了となります。また、入学検定料支払い後は、登録した情報の変更ができません。登録する内容に誤りがいないか、必ずチェックを行ってください。

1	本募集要項の内容を必ず確認
2	事前準備・必要書類等の取得



3	Web 出願システムで出願登録 Web 出願システム： https://home.postanet.jp/PortalPublic/Identity/Account/Login?gkcd=010080 Web 出願利用ガイド： https://www.shiga-med.ac.jp/admission/undergraduate/requirements ※ 詳細は「Web 出願利用ガイド」を参考にしてください。 ※ 入学検定料支払い後は、登録した情報の変更ができません。登録する内容に誤りが ないか、必ず確認してください。
4	入学検定料の支払い Web 出願システムで支払方法（コンビニエンスストア、ペイジー、クレジットカード） を選択し、期間内に支払手続きを行ってください。 ※ <u>出願登録と入学検定料の納入だけでは、出願したことになりません。</u>
5	出願書類等の印刷 本募集要項の指示に従い、印刷してください。
6	出願書類の郵送もしくは持参 印刷した「出願書類提出用宛名シート」を市販の角形 2 号封筒に貼り付け、必要書類を 封入し、出願書類受理期間内に「書留・速達郵便」で郵送もしくは 7 ページ「出願手 続」 に記載の提出先まで持参してください。 (注) 送付された出願書類等が本学に到着した後に、到着した旨の連絡はいたしません。 配達状況を確認するには、「書留速達」のお問い合わせ番号で郵便局 HP の「郵便 追跡サービス」をご利用ください。



7	受験票のダウンロード・印刷 「受験票」をダウンロード開始日以降に印刷し、試験当日に必ず持参してください。
---	--

理 念 等

理 念

滋賀医科大学は、地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与することを理念とする。

使 命

1. 豊かな教養、確かな倫理観、高い専門的知識を有する信頼される医療人を育成すること。
2. 研究倫理と独創性を有する研究者を養成し、特色ある研究を世界に発信すること。
3. 信頼と満足を追求するすぐれた全人的医療を地域に提供し、社会に貢献すること。

医学科 教育目標

医学部医学科では、本学の使命のもと、豊かな教養と確かな倫理観を備え、高度な専門的知識と技能を有し、教育・研究・臨床等の実践の場で中心的な役割を担い、地域医療、社会福祉、国際社会に貢献する人材の育成を目指しています。

教養と倫理観

一般教養、医の倫理、行動科学等の講義・実習を通じて、医のプロフェッショナルに求められる豊かな人間性と確固たる倫理観を醸成する。

専門性

基礎医学、臨床医学及び社会医学等の講義・実習を通じて、医師・医学研究者になるための幅広い知識、技能を涵養する。

科学的探究心と国際性

研究室配属、研究医養成コース、海外留学等を通じて、科学的探究心や国際的な研究・医療に貢献する素養を養成する。

地域医療への貢献

地域医療体験実習、学内外の臨床実習等を通じて、地域医療の意義を理解し、全人的医療を地域に提供できる能力を養成する。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

求める学生像

近年、生命科学の分野は著しく進歩し、医学に関する知識量は膨大となり、また新たな学問分野も生まれつつある。一方、医学・医療に対する社会のニーズは多様化し、医学・医療のみならず、生命科学、福祉、国際医療等、様々な分野において、有能な人材が求められている。このような状況の中、本学の理念に基づき、医療人に必要な学識・能力・技能を修得する素養を持ち、医学の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めている。

1. 医学の修得に必要な幅広い基礎学力と応用力を有する者
2. 十分なコミュニケーション能力を持ち、協調性や他者への思いやりのある者
3. 大いなる好奇心を持ち、自ら考え自ら解決する気概のある者
4. 地域医療に深い関心を持ち、特に滋賀県の医療に貢献する意欲を持つ者
5. 国内外における医学・医療研究の実践及び発展のために、生涯を通じて真摯に取り組む者

入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、一般選抜（地域医療枠を含む）、学校推薦型選抜（地元医療枠を含む）、第2年次学士編入学試験を行っている。地域医療枠、地元医療枠では、滋賀県の医療に情熱を持って従事しようとする者を望んでいる。

第2年次学士編入学試験

学力試験（第1次試験）の合格者に、第2次試験（小論文及び面接）を行い、第1次試験の結果と総合して選抜を行う。学力試験では、大学教養教育修了程度の総合問題（生物学、物理学、化学、統計学及び数学）及び外国語（英語）を課す。小論文及び面接では、意欲、論理的思考力、問題解決能力、倫理観、コミュニケーション能力、協調性、リーダーシップ、自己表現力等を評価する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

医学部医学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識と能力の修得を可能とする教育課程を以下のように編成し、提供します。

1. 教育課程の編成の方針

授業科目を医学教養科目、外国語科目、専門基礎科目Ⅰ（基礎科学）、専門基礎科目Ⅱ（医学導入）、専門科目Ⅰ（基礎医学）、専門科目Ⅱ（臨床・社会医学）、専門科目Ⅲ（臨床実習）として体系的に区分し、それらを低学年次からくさび型に配置することにより、6年間を通して医のプロフェッショナルとして必要な知識、技能、倫理観及び科学的探究心を養うことを目標にした教育課程を策定する。

2. 教育課程における教育・学修方法に関する方針

（1）プロフェッショナルリズム

6年間を通じて豊かな教養や医療人としての確固たる倫理観及び社会性を養うため、行動科学、生命・医療倫理学などを含む医学教養科目を低学年次からくさび型に配置する。また、医学教養科目に区分する授業科目においては、専門にかかわらず求められる「ジェネリック・スキル（汎用的技能）」を養成する。

(2) 専門的な医学知識に基づく問題対応能力

専門科目Ⅰ（基礎医学）においては、医学の基本的概念の理解を助けるとともに問題発見・解決能力、自己開発能力を養うため、臨床医学との接続を踏まえた講義形式の授業に加え、少人数で行う実習形式の授業を実施する。専門科目Ⅱ（臨床・社会医学）における臨床系授業科目では、疾患の系統的理解を助けるため、授業科目を臓器・器官別に、関連する分野との垂直的・水平的統合のうえで編成する。

(3) 基本的診療技能に基づく全人的医療

確かな臨床推論能力を養うため、専門科目Ⅱ（臨床・社会医学）において、横断的臨床領域の具体的な症例を TBL 形式で学ぶ授業科目を導入する（TBL：チーム基盤型学習）。さらに、全人的医療を提供するための基本的能力を養うため、行動科学に関する授業科目を医学教養科目として低学年から継続的に配置する。専門科目Ⅲ（臨床実習）においては、学生が「臨床実習生（医学）」として、教員の指導のもとに診療チームの一員となって診療に参加し、基本的臨床手技や臨床推論能力を身につけることができるよう、診療参加型臨床実習を実施する。さらに、より実践的な診療技能を修得できるよう、医学部附属病院だけでなく、市中病院や診療所での診療参加型臨床実習を実施する。

(4) コミュニケーションと多職種連携

医学教養科目において、適切なコミュニケーション方法を身につけることができるよう初年次教育科目を開講する。また、本学看護学科との合同授業科目を複数設置することに加え、専門基礎科目Ⅲ（臨床実習）において、地域の保健医療福祉施設や医学部附属病院における実習を配置することで、早期からの多職種連携教育を実施する。その他、教育課程では一貫してグループワークや TBL などのアクティブラーニングの手法を取り入れることによりコミュニケーション能力や協働する姿勢を涵養する。

(5) 地域医療への貢献

専門科目Ⅱ（臨床・社会医学）における社会医学系授業科目では、国内外の保健や公衆衛生等、人々の健康増進に必要な社会医学の役割と課題について理解を深めることができる多様な講義・実習を配置する。また、それらの社会医学系授業科目との接続を踏まえて、医学教養科目に区分される社会科学系科目を低学年次から継続的に配置することにより、医療を社会の一部として捉える視点を養成する。さらに、低学年次から継続的にプライマリ・ケアに関する講義・実習を実施することに加え、地域医療教育研究拠点病院や県下の診療所において診療参加型臨床実習を実施することで、地域医療に貢献するための能力を育成する。

(6) 科学的探究心と国際的視野

低学年から最先端の基礎医学研究に触れる授業科目を配置するとともに、自ら研究テーマを設定し、国内外で研究活動を行う授業科目を配置することにより、すべての学生が医学研究を体験し、研究に対する意欲や理解力を養う機会を提供する。さらに、「研究医養成コース」と連動する授業科目の配置により、学生の興味関心の程度に応じてより深く研究に関われる環境を整備する。また、国際的視野を養うことを目指し、継続的に英語教育を実施するとともに、医学研究・臨床実習においてそれぞれ海外研修の機会を提供する。

(7) 情報・科学技術の活用

発展し続ける情報化社会や人工知能等の情報・科学技術を理解し、またそれらと向き合うための倫理観を身につけ、これらの技術を正しく活用できるよう、6年間を縦断するように数理学・統計学・情報科学等に関する授業科目を配置する（「数理・DS・AI 時代の医療人育成教育プログラム」）。

(8) 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢

医学教養科目に、自主能動的に学修するために必要な心構えや学修・思考法を身につけることを目的とする初年次教育科目を配置する。また、医学・医療に直接関連する講義・実習を入学後早期から配置し、学生の医学修得の動機付けを積極的に行う。

3. **学修成果の評価の方針**

- ・シラバスに記載された学修目標について、筆記試験、実技試験、レポート等、多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価する（授業科目レベル）。
- ・共用試験 CBT・OSCE や医師国家試験に準拠して実施する卒業試験等によっても随時学修成果を評価することに加え、ディプロマ・ポリシーに基づいて策定したアウトカムの達成状況によって学修成果を評価する（教育課程レベル）。

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

医学部医学科では、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、次のとおり優れた知識と能力を身につけた学生に学士（医学）の学位を授与します。

1. プロフェッショナリズム

豊かな人間性と確固たる倫理観を備え、他者の立場を尊重して利他的に行動し、医のプロフェッショナルとして自己の向上を図ることができる。

2. 専門的な医学知識に基づく問題対応能力

発展し続ける基礎医学、行動科学、社会医学、臨床医学の幅広い知識を有し、診療や研究の場で活用することができる。

3. 基本的診療技能に基づく全人的医療

基本的診療技能や臨床推論能力を有し、患者の抱える問題を臓器横断的に捉え、心理・社会的背景を踏まえて全人的医療を実践することができる。

4. コミュニケーションと多職種連携

十分なコミュニケーション能力や協調性を有し、多職種と連携・協働して、患者とその関係者を支援することができる。

5. 地域医療への貢献

国内外の保健・医療・福祉に関する知識を有し、地域社会・国際社会の多様な要請を踏まえて医療を提供し、公衆衛生の向上に貢献することができる。

6. 科学的探究心と国際的視野

科学的探究心を有し、基本的研究手法と研究倫理を修得し、国際的視野を持って医学研究を行い、医学・医療の発展に貢献することができる。

7. 情報・科学技術の活用

個人情報保護等の情報リテラシーを備え、人工知能等の情報・科学技術に関する知識を有し、医学研究・医療に活用することができる。

8. 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢

生涯にわたって自己主導的に学ぶ姿勢を有し、他者とともに研鑽することができる。

学 生 募 集 要 項

趣 旨

現在の社会は、高齢化、情報化、国際化などとともに環境問題等大きな変化があり、大学は、こうした社会の変化に対応した新しい教育研究体制を確立する必要があります。

滋賀医科大学は滋賀県を中心とした地域医療や保健に幅広く貢献しておりますが、今後の本学の発展には、入学する学生の質の向上とともに、選抜する人材の多様化が必須であります。特に、他の学問分野の専門知識や社会経験等を有する大学卒業者を学生として迎え入れることは、教育・研究の活性化に大いに役立つことと考えています。

そのために、大学での学修経験や卒業後の社会経験を通じて望ましい医師像を明確に把握した強い勉学意欲を持った学生を第2年次に編入学させて、在學生と相互に切磋琢磨することにより、社会に求められる全人的な医療を担える医師や優秀な研究者を養成します。

募 集 人 員

医学部医学科 15名

入 学 時 期

令和9年4月（第2年次）

出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

1. 大学（外国の4年制以上の大学を含む）を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者。ただし、医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。
2. 大学院（外国の大学院を含む）の修士課程又は博士課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学の医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。
3. 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年3月31日までに授与される見込みの者。

* 外国の4年制に満たない大学を卒業又は卒業見込みで出願希望の方は、出願に先立って出願資格審査を行います。 審査を受けるための手続きについては、[14ページ「出願資格審査」](#)を参照してください。

出 願 手 続

出願手続きは、出願書類受理期限までに以下①～③の手続きを全て完了する必要があります。「Web 出願システムへの登録」だけでは出願手続き完了となりませんので、注意してください。また、出願書類が出願書類受理期間内に本学へ到着しなければなりません。

- ① Web 出願システムへの登録
- ② 検定料の支払い
- ③ 出願書類の郵送（滋賀医科大学へ必着）

1. Web 出願システム登録期間及び出願書類受理期間

Web 出願システム登録期間 (検定料の支払い含む)	令和8年8月17日(月)～ 8月31日(月) 午後5時
出願書類受理期間	令和8年8月24日(月)～ 8月31日(月) 午後5時 (必着)

※ 出願書類の提出は、必ず出願書類受理期間に行ってください。

※ 出願書類受理期間後に到着したものは受理しません。

2. 出願書類の提出先および照会先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 学務課入試室入学試験係 電話：077-548-2071(直通)

3. 出願書類等

* 印は Web 出願システムから、★印は本学ホームページから様式をダウンロードしてください。

摘 要	
* 編入学志願票	<ol style="list-style-type: none"> ① 本学 Web 出願システムより出願情報を登録 ② 写真（3 か月以内に撮影した正面上半身、無帽のカラー写真。縦横比率 4：3、ファイルサイズ 10MB まで）をアップロード ③ 入学検定料の納付後、「編入学志願票」をダウンロードし、A4 サイズの用紙に「片面・カラー」で印刷 <p>※カラー印刷ができない場合には、モノクロ印刷でも可とします。</p>
★ 高等学校等卒業とその後の経歴書	<p>高等学校卒業とその後の 学歴、及び職歴など、本学出願までの事項を現在に至るまで、空白期間のないようもれなく記入してください。 所定の様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。 https://www.shiga-med.ac.jp/admission/undergraduate/requirements</p> <p>【作成方法について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PC 等で作成してください。 2. A4 サイズで印刷してください。欄が足りない場合は増やしても構いません。複数ページにまたがる場合は、可能なかぎり両面印刷してください。 3. 本人署名欄に、志願者本人が自署してください。 <p>※ PC 等での作成が難しい場合は、ダウンロードした所定の様式を A4 サイズで印刷後、志願者本人が自筆にて作成してもかまいません。</p> <p>【作成上の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式設定は変更しないでください。 ・自筆の際は、黒ボールペン又はインクを使用してください。

摘 要	
成績証明書（学部）	<p>大学（学部）長が作成し、厳封したもの。出身大学に編入学した者については、編入学前の大学等の成績証明書も必要です。</p> <p>※1 令和9年3月31日までに卒業見込みの者は、出願時点での成績証明書とします。</p> <p>※2 出願資格3による出願者については、学位申請時に提出した成績証明書と同様のものを提出してください。</p> <p>※3 大学院の成績証明書は不要です。 ただし、大学を卒業せずに大学院を修了（見込含む）した者は、大学院の成績証明書（修了見込みの者は出願時点の成績証明書）を提出してください。</p>
卒業証明書（学部）	<p>大学（学部）長が作成したもの。</p> <p>※1 令和9年3月31日までに卒業見込みの者は、卒業見込証明書とします。</p> <p>※2 出願資格3による出願者については、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。</p> <p>※3 大学院の修了（見込）証明書は不要です。 ただし、大学を卒業せずに大学院を修了（見込を含む）した者は、大学院の修了（見込）証明書を提出してください。</p>
★ 推薦書	<p>本学所定の様式を用いて、原則として大学あるいは大学院の指導教員による推薦書（厳封）を求めます。（注1） 所定の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。 https://www.shiga-med.ac.jp/admission/undergraduate/requirements なお、記載内容について推薦者に問い合わせることがあります。</p> <p>※ やむを得ない事情により指導教員に依頼できない場合は、その理由を編入学志願票に記入し、責任をもって志願者を推薦できる者に依頼してください。</p>
★ 自己推薦書	<p>本学への志望動機、及び医学への貢献についての抱負を合わせて1,200字程度で作成することを求めます。 所定の様式は、本学ホームページからダウンロードしてください。 https://www.shiga-med.ac.jp/admission/undergraduate/requirements</p> <p>【作成方法について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PC等で作成してください。 2. A4サイズで印刷してください。 3. 本人署名欄に、志願者本人が自署してください。 <p>※ PC等での作成が難しい場合は、ダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷後、志願者本人が自筆にて作成してもかまいません。</p> <p>【作成上の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書式設定は変更しないでください。 ・自筆の際は、黒ボールペン又はインクを使用してください。
* 出願書類提出用宛名シート	<p>Web出願システムよりダウンロード後、必要事項を記入したうえで、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。</p>

- (注) 1. 推薦書及び自己推薦書は、必要に応じて折り曲げても構いません。
2. 出願後における登録事項の変更は認めません。また、受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず返還できません。
3. 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

4. 出願方法

(1) 本学 Web 出願システムに情報を登録

Web 出願システム登録期間に以下 URL から本学 Web 出願システムにアクセスし、出願情報を登録してください。

<https://home.postanet.jp/PortalPublic/Identity/Account/Login?gkcd=010080>

(2) 入学検定料の支払い

検定料 30,000 円

本学 Web 出願システムから検定料を納入してください。

※入学検定料支払い時に払込手数料が別途かかります。

(3) 出願書類等の印刷

入学検定料の支払い後、「出願書類提出用宛名シート」、「編入学志願票」の PDF ファイルがダウンロードできるようになりますので、A4 サイズで印刷してください。

(4) 出願書類の郵送もしくは持参

印刷した「出願書類提出用宛名シート」に必要事項を記入したうえで、市販の角形 2 号封筒 (24cm×33.2cm) に貼り付け、以下の出願書類を封入してください。

- ①編入学志願票、②高等学校等卒業とその後の経歴書、③成績証明書、④卒業証明書、⑤推薦書、⑥自己推薦書

【郵送の場合】

『書留・速達郵便』で送付してください。

【持参の場合】

7 ページの「[2. 出願書類の提出先および照会先](#)」に持参してください。

受付時間は、土曜日、日曜日を除く午前 9 時から午後 5 時までです。

5. 受験票の印刷

- (1) 本学で出願を受理した志願者については、以下の日程で Web 出願システムから「受験票」及び「受験者注意事項」をダウンロードできるようになります。(ダウンロード開始日に、登録されたメールアドレスへ通知します。)

ダウンロードした受験票は、A4 用紙に「片面・カラー」印刷し、受験票下部に記載の指示に従って加工のうえ、試験当日に必ず持参してください。(本学からは送付しません。)

受験票ダウンロード開始日
9 月 9 日 (水) 頃

- (2) Web 出願システムに「受験者注意事項」を掲載します。試験当日の注意事項のほか、試験室及び受験者控室の配置図を記載していますので、必ず確認してください。

- (3) ダウンロードした受験票に不備がある場合には、速やかに以下まで連絡してください。

【連絡先】学務課入試室 077-548-2071 (直通)

6. 留意事項

入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下のいずれかに該当しない者は理由のいかんを問わず返還は行いません。該当する者は、7ページの[「2. 出願書類の提出先および照会先」](#)へ令和8年9月30日（水）までに必ず申し出てください。

- ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ者

選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、志願者全員に対して第1次試験を、第1次試験合格者に対して第2次試験を、それぞれ次のとおり実施します。最終合格者は、第1次試験及び第2次試験の結果を総合して決定します。ただし、すべての試験科目等を受験していなければ、最終合格者にはなれません。

1. 第1次試験

学力試験により判定し、募集人員の3倍（45人を下回らない）の第1次試験の合格者を決定します。ただし、両方の試験科目を受験していなければ、合格者にはなれません。

(1) 試験日程等

月	日	時 間	試 験 科 目	配点
9月26日(土)		10:00～12:30	総合問題	200
		14:00～15:00	外国語 (英語)	100

(注) 総合問題は、医学修得に必要な知識を評価するため、大学教養教育修了程度の生物学、物理学、化学、統計学及び数学を出題します。

(2) 試験場

滋賀医科大学（[18ページ「学内の略図」](#)を参照）

詳細については、Web 出願システムに掲載する「受験者注意事項」を確認してください。

(3) 受験に関する注意

- ① 試験当日は、「**受験票**」を必ず持参してください。
- ② 試験当日は、「**9時40分**」までに指定の試験室に入室してください。試験室及び受験者控室の配置図は、Web 出願システムに掲載する「受験者注意事項」で確認してください。
- ③ 試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。なお、試験途中での退室は認めません。
- ④ 試験に使用できるものは、HBの黒鉛筆（シャープペンシルは不可）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）、メガネ、時計（計時機能のみ）、目薬、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）に限ります。
- ⑤ 昼食（湯茶を含む）を用意してください。

2. 第2次試験

第1次試験合格者に対して、小論文（小論文Ⅰ、小論文Ⅱ）、面接及び出願書類による選抜を行います。

(1) 試験日程等

月	日	時 間	試 験 科 目 等	配点
10月20日(火)		9:00～10:30	小論文Ⅰ	200
		11:00～12:30	小論文Ⅱ	100
		13:30～	個人面接	注4

- (注) 1. 小論文Ⅰは、論理的思考力や問題解決能力を評価するため、自然科学の資料を提示し、それに関するテーマについて論述させる。
2. 小論文Ⅱは、医学・医療の社会的役割について論述させる。
3. 個人面接は、医師として必要とする基本的なコミュニケーション能力、協調性、リーダーシップ、批判能力、自己表現力等を評価する。
4. 個人面接は、段階評価を行い、その評価が一定の基準に満たない場合は、総合点のいかんにかかわらず不合格とする。また、出願書類は面接時の参考資料として使用する。

(2) 試験場

滋賀医科大学（[18ページ「学内の略図」](#)を参照）

詳細については、第1次試験の合格発表時に通知します。

(3) 受験に関する注意

- ① 試験当日は、「**受験票**」を必ず持参してください。
- ② 試験当日は、「**8時40分**」までに指定の試験室に入室してください。
- ③ 試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
なお、面接の集合時刻（試験当日に通知）に遅刻した時点で、受験資格を失いますので特に注意してください。また、試験途中での退室は認めません。
- ④ 試験に使用できるものは、**黒鉛筆（シャープペンシル可）**、**鉛筆キャップ**、**プラスチック製の消しゴム**、**鉛筆削り（電動式を除く）**、**メガネ**、**時計（計時機能のみ）**、**目薬**、**ハンカチ**、**ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）**に限ります。
- ⑤ 昼食（湯茶を含む）を用意してください。

合格者発表

1. 第1次試験合格者発表

令和8年10月15日（木） 午前10時（予定）

合否照会サイト (<https://www.postanet.jp/PassPlus/Login?gkcd=010080>) において発表します。合格者には別途、Web 出願システムに第2次試験の案内を掲載しますので、必ず確認してください。

なお、電話による問い合わせには一切お答えできません。

2. 最終合格者発表

令和8年11月13日（金） 午前10時（予定）

合否照会サイト (<https://www.postanet.jp/PassPlus/Login?gkcd=010080>) において発表します。合格者には別途、Web 出願システムに「合格通知書」及び入学手続書類等を掲載します。

なお、電話による問い合わせには一切お答えできません。

※「合格通知書」等のダウンロード可能期間：令和8年11月27日（金）午後5時まで

入学手続等

1. 入学手続方法

入学手続システムにて実施します。合格者は、Web 出願システムに「入学手続等に関する手引き」を掲載しますので、内容を確認の上、手続期間内に手続きを完了してください。

2. 手続期間

令和8年11月13日（金）～ 令和8年11月27日（金）午後5時まで

3. 納付金

(1) 入学料 282,000 円

(2) 授業料 267,900 円（前期分）、535,800 円（年額）

- ① 納付の詳細については、合格者に別途通知します。
- ② 前期分の授業料は、口座振替又は本学所定の振込依頼書により令和9年5月中に納付していただくこととなります。
- ③ 授業料については、年額を納付することができます。
- ④ 上記の納付金は予定額であり、入学前もしくは在学中に改定された場合は、改定時から新しい納付金を適用します。

4. 納付金の徴収猶予等

入学料及び授業料には徴収猶予等の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。

5. 留意事項

本学の指定する期限までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

出願資格審査

外国の4年制に満たない大学を卒業又は卒業見込みで出願希望の方は、次により出願資格の認定を受けてください。

1. 申請書類

- (1) 履歴書（高校入学から記入したもの）
- (2) 卒業した大学の成績証明書（厳封したもの）
※令和9年3月31日までに卒業見込みの者は、出願資格審査申請時点での成績証明書
- (3) 卒業した大学の卒業証明書
※令和9年3月31日までに卒業見込みの者は、卒業見込証明書
- (4) 卒業又は卒業見込みの大学のシラバス（シラバスへのリンク、PDFでも可）
※シラバス送付先：hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp（学務課入試室）
- (5) 審査結果通知用封筒（長形3号封筒に住所・氏名を記載し、410円分の切手を貼付したもの）

2. 申請期間

令和8年7月10日（金）まで

3. 申請書類の提出先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学 学務課入試室入学試験係 電話 077-548-2071（直通）

4. 資格審査

資格審査は、提出された申請書類により行います。

5. 審査結果

審査結果の通知は、令和8年7月24日（金）までに、申請者あてに発送します。

出願資格「有」と認められた場合は、本要項に定める7ページの「[出願手続](#)」を行ってください。

障害等のある入学志願者との事前相談

障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者のための事前相談を行いますので、相談を希望する場合は、あらかじめ「3. 相談先」まで申し出てください。

1. 期 限

令和8年7月24日（金）まで

※不慮の事故等で期限後に相談が必要となった場合は、できるだけ早く連絡してください。

2. 方 法

事前相談申請書（本学所定様式もしくは下記の事項を記載した任意の様式）を作成し、医師の診断書を添え、提出してください。

なお、必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- ・事前相談申請書（本学所定様式）：<https://www.shiga-med.ac.jp/admission/contact/consultation>

申請書に記載する事項

- (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- (2) 入試区分
- (3) 障害等の種類・程度
- (4) 受験上の配慮を希望する事項
- (5) 修学上の配慮を希望する事項
- (6) 出身学校でとられていた配慮事項
- (7) 日常生活の状況

3. 相談先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学 学務課入試室入学試験係 電話 077-548-2071 (直通)

欠員の補充

募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格を行います。

1. 通知方法

編入学志願票に記載の志願者連絡先へ、電話により本人へ直接連絡しますので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておいてください。本人が不在の場合には、所在を明らかにしておいてください。

2. 通知期間

令和8年11月27日(金)午後5時～

入学試験個人成績の開示

1. 開示方法

令和9年度学士編入学試験の個人成績は、Web出願システムにて照会可能となります。
開示方法についての詳細は、以下期間に本学ホームページにて公表します。

2. 照会可能期間

令和8年11月13日(金)午前10時(予定)～12月28日(月)

3. 開示内容

- ・合格者の最高点・最低点・平均点
- ・第1次試験、第2次試験の科目別点数
- ・総合評価

入 学 者 選 抜 状 況

年 度	募集人員	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
4	15	第1次試験	330	299	45	—
		第2次試験	—	42	16	15
5	15	第1次試験	333	288	45	—
		第2次試験	—	43	19	15
6	15	第1次試験	265	237	45	—
		第2次試験	—	42	16	15
7	15	第1次試験	195	177	45	—
		第2次試験	—	43	17	15
8	15	第1次試験	183	165	45	—
		第2次試験	—	44	18	15

個 人 情 報 の 取 扱 い

「滋賀医科大学 Web 出願システム」及び「入学手続システム」へ入力された情報などを含めて、入学者選抜を通して提供された個人情報は「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人滋賀医科大学個人情報保護規程」に基づいて次のとおり適正に取り扱います。

1. 提供された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者に関しては、上記1.の方法での利用に加え、個人情報を①教務関係（学籍・修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うためにも利用します。
3. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
4. 合格判定資料作成業務（氏名・住所を除く）での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、匿名化された個人情報の全部又は一部を提供します。
5. 「滋賀医科大学 Web 出願システム」及び「入学手続システム」は京都電子計算株式会社により構築・保守が行われ、登録された個人情報は日本マイクロソフト株式会社の提供するクラウドサービス Microsoft Azure 上に保存されます。データは国内に保存され、日本の法律に準拠して管理されます。
6. Microsoft Azure のセキュリティについては、以下をご確認ください。
<https://azure.microsoft.com/ja-jp/explore/trusted-cloud/privacy/>
7. Microsoft Azure 上に保存された個人情報は、入学者選抜の終了後、適切なタイミングで Microsoft Azure 上からは完全に削除し、以降は本学のみが保管します。

生成 AI の利用について（注意事項）

本学では、学生・教職員に対し ChatGPT などの生成 AI 利用の指針について、本学ホームページ「本学の教育現場における生成 AI への向き合い方」 (<https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/ai>) にて公表しています。出願に際しては、以下の注意事項を踏まえて、必要な提出書類の作成を行ってください。

【注意事項】

1. 生成 AI による成果物をそのまま自己の成果物として提出することは禁止します。
2. 出願書類等の作成に当たっては、「アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）」、本学ホームページ「本学の教育現場における生成 AI への向き合い方」を確認してください。
3. 不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

入学者選抜等に関する照会先

滋賀医科大学 学務課入試室入学試験係

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

T E L 077-548-2071

E-mail hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp

大学 H P <https://www.shiga-med.ac.jp/>